

# 鶴が丘だより

東京都町田市三輪緑山二丁目2133-1  
医療法人社団鶴水会鶴が丘ガーデンホスピタル  
院長 後藤 晶子  
電話 044(988)3121代

## 年のはじめに

創立50周年  
し今できることを  
後悔のないように

院長 後藤 晶子

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。皆様におかれましては、昨年まごど全く異なる緊張感の中、新年を迎えられたことでしょうか。大変な状況下におられると存じますが、少しでも覚悟する時が持てますよう、祈っております。日頃は病院の運営に、ご理解とご協力を賜り、誠に有難うございます。

### ◎お陰様で半世紀

昭和46年4月に設立し、今年で50周年を迎えます。少し歴史を振り返りますと、開

院当時は精神医療が民間へと政策誘導された時代で、昭和時代都内で最後に認可をうけ設立されたのが当院でした。志ある同志が集い、自由な発想と患者様ファーストの視点から、多職種協働で患者様へ働きかける文化が根付きました。

平成時代に入りより地域へと目が向けられるようになり、デイケアや訪問看護をいち早く導入しました。隣地購入に成功後、178床から200床への増床申請も叶い、平成20年に改築後、精神科急性期治療と認知症疾患治療の専門病棟を持つことができ、入院患者数が1.6倍に増えました。

そして令和時代は、既成概念の「破壊」と新たな「創造」がキーワードです。これまで当然であった人との空間の共有が、かけがえないものとなりつつあります。ただ、ポスト流行後のルネッサンスや、スペイン風邪流行の後にはモダニズムが生まれ、コロナ禍の過酷な環境に適応する中で、より良い価値観が生み出されるとも信じています。今できることは何か、その中で

いこうポジティブに生きるか、逞しく頑張ると切り開いていきたいと思っております。詳しくは50周年特集でもお伝えします。

### ◎コロナを「早く知り」「いかに守るか」の一年

取り組み自体については、これまで誌面でもご紹介したので、今回は今までの決断し、自分達の心身の健康を維持してきたかについて、お伝えします。

#### ◆初動

昨年1月25日の武漢閉鎖の時点で、報道が2009年の新型インフルエシカと酷似していたため、これは只事ではないと対策を開始しました。マスクはある程度確保できましたが、アルコールや手袋まで品薄になるとまじは、この時点で予測できず苦労しました。自宅のマスクや防護服を、寄附下さった方に勇気をいただきました。

#### ◆外来の努力

1月に全国初の感染者が近隣の病院に発生したため、私達の意

識はいち早く高くなりました。報道の情報を集め、手探りで診察室や行合室にシグナルを置き社会的距離と換気を始め、最初は不思議がられました。

同時に車内での待機とドライブスルー受診にも対応しました。これなら通えるかと皆様安心して下さり、ゆみになりました。スタッフの柔軟さに感服しました。

### ◆トイレの決断

大変悩みました。医療レサードスであることから続行としました。もうひとつの敵「孤独」に

対応するためです。利用者様の意識が高く、本当に有難かったです。共にマスクを作り、手洗い午エツカーで研修し、感染防御教育に力を入れました。お休みされた方へは臨時の訪問看護を行いました。一部が治療中断となり、ペリスを保つ大切さを痛感しています。

### ◆入院病棟は団体戦

外出頻度の自粛やマスクなど、患者様が本当によく協力下さいました。またスタッフもよくここまで個人の体調管理を続けてきてくれました。皆の努力が必要で、まさに「団体戦」です。

現在はPCR検査の体制が手厚く整い不安が解消できています。以前は入院後暫く個室に滞在して頂いたり、試験外泊せず退院するなどのご協力を頂きました。短期集中の入院が増え、「やればできる」とも感じました。

### ◆これからの「敵」

やはり「油断」と「疲れ」です。現在は戦時中の心理に似ており、常に緊張感と我慢の毎日ゆえに細なことで抑圧が取れやすく、反動で攻撃的になりがちです。

院内では、感染の少ない4、9月に「院内会食」を部署毎に行いました。シールドを付けながらの不便な食事が滑稽で、笑い話になりました。年末は会食困難と判断し、抽選会で盛り上がりました。制限がある中の方が、何気ないことを喜べる事に気がきました。

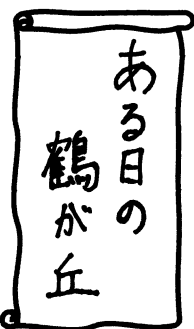
### ◆私の過ぎし方

4月2日の緊急事態宣言の日、今しができないことと「後梅のないように」と切り替えました。夜の会合がなくなった事をキヤンスと捉え、生まれて初めての減量で1日3分から走り始めました。体重はまだ臍ずかしく言えるもので

はありませんが、計算してみると体脂肪が6キロ落ちました。便通が良くなり、脂質値が改善し、気も軽くなりました。運動は抗うつ薬ひとつ分というのは本当です。

途中くじけそうになつたので、患者様やスタッフにも伝える事にしました。人に「共有」してもらい、見守られることで自分を変えられるかにしています。コロナ禍で通院頻度のお問い合わせもありましたが、何か自分に課題を感じる方は月1回までをお勧めしています。

引き続き皆様本年も宜しくお願い申し上げます。



あけましておめでとうございませう。本年も宜しくお願いいたします。

ます。編集委員会では、コロナ禍で中止となつた文化祭を「web文化祭2020」と題し、ホームページで公開しています。また、50周年企画等も検討していますので、お楽しみに。編集委員一同



[Web文化祭2020]